

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2269号 2015年07月21日(火曜日)

《 low VIX index but..... 》

VIX 指数で見たボラティリティーも全体的には落ち着いてきて、「夏枯れ」の雰囲気もある市場になりそうですが、むろんのこと注目点はいくつもある。まず中国。成長率などはまずまずの数字が出ているのですが、「本当だろうか」という気持ちは晴れないままである。資源を含む輸入の減少、車の売り上げの急減速、国内貨物移動量の減少など。また上海の株価が力業で上がっていることは誰でも知っている。だからベースは弱い。

その中国に関して今朝報じられたのは、令計画氏の失脚。胡錦濤の側近の一人で、周永康が江沢民に近い人物だったのに続く大物の党籍剥奪。一見「習近平の地盤が固まった」とも思えるが、客観的に見てこうした「国内引き締め」をしている間は、中国経済は上向かないと思われる。官官接待批判が起きたときに札幌や仙台の街に何が起こったのかを想起すれば、今の中国の汚職撲滅運動は政治的には正しくても、経済にとっては圧迫要因である。

その一方で、中国指導部は訪中した谷内・国家安全保障局長を厚遇。8月の安倍首相による戦後70年談話を控えているという事情もあるが、それだったら「厚遇」はおかしい。どうやら中国は対日関係改善を「経済浮揚」の観点から考えていて、それは結局「経済を深刻に見ている」証拠とも思える。その中国からは、中国7月製造業PMIなどの統計が出る。

最近のイエレン議長の一連の発言を総合すると、筆者は「9月にFRBが利上げする可能性あり」と見ているのですが、アメリカの統計も気にかける必要がある。住宅関連や消費者の景気信頼感の統計が出る。雇用の専門家ではあるが、その専門家をして「雇用には大きな問題は無い」との判断にイエレン議長は近づいている可能性が高い。残るはインフレをどう考えるかだと筆者には見える。しかし無論のこと、9月に利上げした場合には12月は見送りになると思われる。

ギリシャは銀行再開となったようですが、当然ながら限定再開。VATも上がる中で、同国経済で明るい話題は銀行再開程度で、ギリシャ経済は再び難しい局面続きだ。何回も取り上げているが、今回の合意は「危機の2~3年の先送り」に過ぎないと思う。

今週の主な予定は以下の通り。

07月20日(月曜日)

東芝 不適切会計問題をめぐり第三者

	委員会報告書の要約を公表 ECB が保有する 35 億ユーロのギリシャ 国債償還期日 休場=インドネシア
0 7 月 2 1 日 (火曜日)	金融政策決定会合の議事要旨 (6/18・19) 6 月白物家電国内出荷実績 (10:00) オーストラリア中銀理事会の議事録 6 月電力需要実績 6 月食品スーパー売上高 6 月粗鋼生産量 6 月百貨店売上高 6 月コンビニ売上高 月例経済報告 東芝 不適切会計問題をめぐる第三者委 報告で田中社長会見 休場=インドネシア
0 7 月 2 2 日 (水曜日)	米 6 月半導体製造装置 BB レシオ オーストラリア 4~6 月消費者物価 6 月訪日外国人数 6 月スーパー売上高 英イングランド銀金融政策委員会議事要旨 米 5 月 FHFA 住宅市場指数 米 6 月中古住宅販売
0 7 月 2 3 日 (木曜日)	ニュージーランド中銀が政策金利発表 韓国 4~6 月期 GDP 6 月貿易統計 21 日時点の給油所の石油製品価格 6 月民生用電子機器国内出荷 トルコ中央銀行の金融政策委員会 英 6 月小売売上高 米新規失業保険申請件数 米 6 月コンファレンスボード景気先行指数
0 7 月 2 4 日 (金曜日)	中国 7 月製造業 PMI シンガポール 6 月鉱工業生産 仏 7 月 PMI 速報値 独 7 月 PMI 速報値

《 have a nice week 》

3連休はいかがでしたか。前半は台風の影響もあって風が強かったように思いましたが、後半は良い天気、というか暑い天気。おまけに夏休み入りとあって、道路を走っても、新幹線に乗っても「夏休みモード全開」でした。目立つのは子ども達。「日本にもこんなに子どもがいたんだ」と。良い事です。

- - - - -

ところで今とっても賛同できる本を読んでいます。新潮新書の『「昔はよかった」病』（パオロ・マツァリーノ／著）です。私は注意深くそういう人を避けるので、周囲にはだいぶ少なくなってきたのですが、とにかく「昔は良かった」と何でも過去を美化する人が日本では多い。

この本のタイトルを借りると「昔は安全だった」「絆と人情があった」「みな礼儀正しかった」と。生活レベルから言っても、個々人が持つ自由度から言っても、「今」の方が絶対良いのに、「昔は良かった」とまるで昨日までそこに居たように言う人々。戦国時代に生まれて、自分がたまたま殿様だったと勘違いしているのでは、と思うような人々。しかし大部分はそうではなく、自分の運命を決められずに生きた人が大部分だったのに、と私は思っているのです。

この本は「日本人はなぜ過去を美化するのか？」と問うているのですが、ま、この本にも書いてあるのですが、自分と他の人々とは別であると主張したい人が多いということでしょう。自分は美しかった「過去の人」と一緒だが、君たちは違うといった。まあ特殊なメンタリティと言える。とっても面白い本です。でも正直な気持ち、「海外の人に書かれちゃって、残念」と。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》